



己の本性になる — 教育相談、カウンセリングの実践を経て —

安江昊太郎 著

税込価格●1,000円（本体価格 926円）

取扱店●《新得町》相馬商店／共働学舎ミントル《帯広市》岡書／宮脇書店／ザ★本屋さん(コロニー店・エルマー店・いっきゅう店) 《芽室町》ザ★本屋さん(ダイイチめむろ店)《移動本屋》鈴木書店

発行・注文・問合せ●P C サポート芳賀工房 芳賀耕一

081-0039 北海道上川郡新得町新内西 1-125

TEL: 0156-64-6893 / 090-8708-6334

FAX: 0156-64-6893 / 050-7500-6839

E-mail: kouichi.haga@nifty.com

<http://tomuraushi.com/>



公式HP●<http://tomuraushi.com/> PDF版を公開中

叔父・安江昊太郎(1930年生まれ)は、1953～64年、新得町立上富村牛小中学校や北海道清水高校等の先生をしていて、東京の我が家では「北海道のおじちゃん」と呼んでいました。

北海道のおじちゃんは、上京すると、凧を作ってくれたり、書初めを教えてくれたり、サッカーや自転車で遊んでくれ、お年玉も少し多めにくれるので、私(1955年生まれ)はおじちゃんが来るのを心待ちにしていました。

おじちゃんは、上富村牛小中学校の生徒から「踊りを教えて」と言われると、東京・自由が丘の石井漠舞踊研究所に日参して、押しかけ弟子となります。

夏休みと冬休みの5週間、子どもたちや大人たちのレッスンに混ぜてもらって、毎日、朝から晩まで、レッスンを受けたそうです。

同じ頃、おじちゃんはカウンセリングにも興味をもち、先駆者達を訪問し、「カウンセリング講習会」などに参加するようになります。

1964年、「北海道のおじちゃん」は「日立のおじちゃん」になり、以後は日立市と東京で教育相談・カウンセリングを続けてきました。



20代のおじちゃん

一方、北海道での暮らしに憧れた私は19歳で北海道に渡り、22歳で新得町に移住し、10年前から、廃校となった上富村牛小中学校近くの肉牛牧場などで仕事をしています。

新得に移住したのも、トムラウシでの仕事も、たまたまの縁あってのことですが、無意識のうちに、大好きだった「北海道のおじちゃん」に引き寄せられたのかも知れません。

2017年6月、久しぶりにおじちゃんに会うと、「本を出版したい」と200枚を超える手書き原稿を見せてくれました。これを持って、出版社に売り込みに回ると言うのです。

おじちゃんの意気込みに、私は、電子出版と手作り製本であれば何とかかなと引き受けましたが、入力・校正・表紙デザイン・印刷など、多くの友人らの協力を得て、ついに初版本1000冊が完成しました。

この「己の本性になる」は、おじちゃんが40年続けてきた教育相談・カウンセリングで、クライアントとどのようにかかわってきたかを記録したものです。

おじちゃんは、「教育相談やカウンセリングという仕事は、相談員がクライアントとかがわっていく中で『その人自身の本性になる』ことを手伝う仕事である。」「相談員自身も『己の本性』になっていかねば、できることではない。」といます。

題名だけを見ると、難解な本に思われるでしょうが、教育相談・カウンセリングとは無縁の人にとっても、内容は具体的で分かりやすいので、ご安心ください。

内容はホームページでご確認いただけますので、最初の1～2章だけでも是非読んでみてください。特に中学3年生での戦争体験の話は多くの方に読んでいただきたいです。

この本のあとがきには、「私も、生まれてこのかた、多くの人々から大切なものを預かってきた。この、私のうちにある大切な預かりものを、生きていくうちに人々に渡しておきたいと思ったからだった。」とあります。

この本が、皆さんのロコミ等を通じて、多くの人々の心に届くことを願っています。